

2018年第4四半期（10月～12月）における海外安全対策情報

2019年1月
在キャンベラ日本大使館

1 ACT（首都特別地域）の治安情勢

治安情勢は全般的に安定していますが、近年、バイキー（ギャンググループ）による犯罪が増加傾向にあるとの報道がありました。特に、グループ同士の抗争や暴力事件が多発していることから、繁華街等のギャングが集まりそうな危険な場所には、なるべく近寄らないよう注意して下さい。また、最近急増している犯罪について、警察の発表によると、12月だけで50台以上もの車両火災がACT内で発生しています。一部は放火による炎上もありますが、原因不明の火災も多発しており、車を停車する際は、周りに不審者がいないか等十分注意するよう心掛けて下さい。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 犯罪発生地域の傾向

全般的に減少しています。Belconnen (-7%), Gungahlin (-33%), Inner North (-7%), Inner South (-29%), Weston Creek (-26%), Molonglo District (-48%), Woden Creek (-26%), Tuggeranong Creek (-14%)

(2) 犯罪発生件数と犯罪の傾向

ア ACTでの3ヶ月間の犯罪発生件数（カッコ内は昨年同時期の発生件数）

・殺人、殺人未遂	： 0件（ 1件）	-100%
・暴行	： 705件（ 767件）	-8%
・性的暴行	： 115件（ 111件）	+4%
・対人犯罪	： 79件（ 48件）	+65%
・不法侵入	： 512件（ 694件）	-26%
・強盗	： 54件（ 45件）	+20%
・窃盗	： 1944件（ 2702件）	-28%
・車両盗難	： 304件（ 389件）	-22%
・器物損壊	： 1085件（ 1202件）	-10%
・その他の犯罪	： 2646件（ 3083件）	-14%

ACT全体の犯罪発生件数は昨年同時期に比べ約**1.8割減少**しています。

イ 犯罪別の傾向

昨年同時期に比べ窃盗件数が大幅に減少していますが、拘束・脅迫・嫌がらせ等の対人犯罪が増加しており、凶悪な強盗事件も発生していることから、犯罪者にスキを与えないよう引き続き注意が必要です。

(3) 邦人被害について

邦人被害については認知していません。

3 テロ・爆弾事件発生状況

- (1) 豪州政府の発表するテロ警戒レベルは、国家テロ脅威警戒システムの5段階中、引き続き上から3番目の「起こりそうである (Probable)」とされています。
- (2) 治安当局は年間を通じて、テロ容疑者の摘発に取り組み、国内で1件のテロ攻撃を未然に摘発しましたが、2件が実際に発生しました。2月9日、メルボルン北東部で24歳の女が滞在先の大家である56歳の男性を死傷した容疑で逮捕されており、11月9日には、同じくメルボルンの中心地区パーク通りで、30歳の男が市民3人を刃物で刺し、1人を死亡、2人を負傷させた後、警察官により銃撃され、その後死亡が確認されました。豪州政府は、引き続きテロ容疑者の摘発を推進し、政府関連施設等の警備を強化するとともに、若者の過激化防止対策に力を入れています。
- (3) 政府中枢の多く集まるACTでは、現在のところ具体的なテロの脅威を示す情報は把握されていませんが、イベント等の人が多く集まる場所に足を運ぶ際は十分な注意を払う必要があります。
- (4) 爆弾予告及び事件発生については認知していません。

4 誘拐・脅迫事件発生情報

邦人誘拐等の被害については認知していません。

5 日本企業等の安全に関わる諸問題

一般的に対日感情は良好ですが、2018年12月の日本による国際捕鯨委員会脱退通告及び脱退後の商業捕鯨再開の表明を受け、今後、環境保護を標榜する団体等を中心とする抗議活動がこれまで以上に活発となるおそれがあり、報道に触発された者による嫌がらせや暴行等を受けたりすることも懸念されます。もし、抗議活動等を見かけた場合は、決して近寄ることなく、巻き込まれないよう十分注意して下さい。

参考：

1. [ACT警察犯罪統計](#)
2. [ACT（首都特別地域）の事件発生状況（2018年4四半期）](#)